

行財政改革プラン

平成22年度までに見込まれる、306億円という収支不足を解消するために行う取り組みです。

組織を効率的に

- 区役所の税務事務を統合し、**市税事務所**を設置する
- 管理職**ポストを10%削減する

民間を活用

- 民間委託、指定管理者制度など、**民間の力や知恵を生かす**手法を使い、サービスの向上と経費の削減を図る

出資団体の見直し

- 市が出資している**団体の統廃合**のほか、出資自体の在り方を検討する

人件費の見直し

- 平成22年度までの5年間で総職員数を850人(5.5%)**削減**する

支出を抑える

- 事務費の節約など**内部努力**を徹底する
- 施設や事業の必要性を検証し、重要な取り組みに経費を**重点化**する

収入を確保する

- 市税などの**収納率**を上げる
- 社会や経済の変化、公平性などを考慮し、コストに見合った**料金**を設定する
- 広告**事業の推進、**財産**の貸与や売却、**基金**の有効活用を進める

見込まれる財政効果 306億円

※H22年度まで

事業費や人件費の見直し	115億円
事業の選択と集中	20億円
使用料など見直し	56億円
財産などの有効活用	115億円

第2次札幌新まちづくり計画

平成22年度までに特に優先的・重点的に実施する取り組みです。

子育て・教育



- 保育所定員**を約1,000人増加
- 小学生が放課後に過ごせる**ミニ児童会館**を整備
- 高校生・大学生などの**奨学金**支給の対象人数を倍増
- 障がいのある子供たちのために**特別支援教育**を充実

地域づくり



- まちづくりセンターの**地域による運営**を推進
- 市政への市民意見反映の場「**区民協議会**」を全区に設置
- 市民まちづくり活動促進条例**を制定し、活動を支援
- 話し合いを通じて**地域の実情に応じた雪対策**を実施

経済



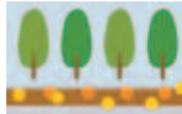
- 厳しい経営環境にある小規模事業者**に小口資金**を融資
- 洋菓子など「**札幌の食**」を国内外にアピール
- IT・コンテンツ・バイオ**企業の誘致**を促進
- 若年層の就業**を支援するためセミナーなどを実施

福祉



- 敬老パス**の上限額を5万円から7万円へ引き上げ
- 介護予防支援**の拠点を4カ所増設
- 障がいのある方が作った製品を販売する「**元気ショップ**」の2号店を開設

環境



- 「**環境首都・札幌**」宣言を行い、先進的な施策を実施
- 地域による**花壇づくり、植樹**の取り組みを支援
- 二酸化炭素排出量削減**のために普及・啓発を実施
- ごみ減量、リサイクル**の施策を推進

安全・安心



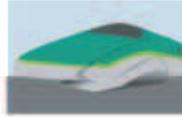
- スクールガード**による子供の見守り活動を推進
- 地下鉄東西線全駅のホームに**可動式ホーム柵**を設置
- 防災資機材の助成など**自主防災組織**への支援を実施
- 小中学校ほか各施設の**耐震化**を実施

文化・スポーツ



- 芸術家**を小学校に派遣したり、小学生を美術館に招待したりする取り組みを実施
- 彫刻家「**佐藤忠良**」の作品を展示する施設を建設
- 都市公園内に**パークゴルフ場**を5コース整備

観光・都市整備



- 秋の大通公園で食をテーマに**新たなイベント**を開催
- 市民会館**の後継施設の整備を検討
- 道内市町村の**食や観光の情報発信拠点**を都心に整備
- 北海道新幹線**の札幌延伸に向けた誘致活動を推進

市は、今後も皆さんの意見を伺い、いただいた一つ一つの意見を検討しながら、計画を実行していきます。



【人件費の見直し】
意見 市は職員を出資団体などに派遣しているが、その必要がないと思われる団体もある。見直すべきだ。
市 「出資団体の見直しの一環として、平成十七年に百八十二人いた市からの派遣職員を、五年間で八十七人にする目標を立て、派遣の引き揚げを進めています」

行財政改革プラン

【観光・都市整備】
意見 藻岩山については、環境に配慮し、自然破壊を招くような施設は造らないてほしい。
市 「環境への配慮は、藻岩山の整備に当たった際の最も重要な課題と考えており、施設の設置についても、近く策定する環境配慮ガイドラインに沿って検討していきます」